

事務事業名		春殖交流センター整備事業		所属部	大東総合センター	所属課	自治振興課
総合計画体系	政策名	( I ) みんなで築くまち<<協働・行政経営>>		所属G	自治振興グループ	課長名	景山修二
	施策名	( 01 ) 市民が主役のまちづくりの推進		担当者名	加納寿伸	電話番号	0854-43-8160 (内線) 4005
	目的 対象	市民	意図 まちづくりの課題を主体的に解決する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 1 0 0 2 項 目 中事業 中事業 0 5 6 5 2 1 業名	自治振興事業 春殖交流センター整備事業	
	目的 対象	活動している市民	意図 活動しやすい場所がある。				

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )
	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 29 年度 ~ R元 年度 )
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述)
現春殖交流センター施設の老朽化による建て替え業務 H29 施設用地の確保、用地に係る調査、建設予定地の造成工事、建築設計事務 H30 公園解体工事、建設工事(本体) R元 旧春殖交流センター解体工事、外構工事	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	30年度実績(30年度に行った主な活動)				元年度計画(元年度に計画する主な活動)			
		公園解体工事 倉庫移転工事 春殖交流センター建設【本体・機械・電気】 備品購入				旧春殖交流センター解体工事 春殖交流センター外構工事			
	② 活動指標	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (計画)			
	ア 施設用地の確保、用地に係る調査、建設予定地の造成工事、建築設計事務	式		1					
	イ 建築工事	式			1				
	ウ 旧春殖交流センター解体工事	式				1			
	エ 春殖交流センター外構・舗装工事	式				1			

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (計画)
	①春殖交流センター ②春殖地区民	ア 春殖交流センター	式	1	1	1	1
		イ 春殖地区人口	人	2,228	2,180	2,075	2,075
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (計画)	
・春殖交流センターが建て替えられ、春殖地区のまちづくりの拠点として整備される。	ア H30/建築面積、R元/解体面積)	m <sup>2</sup>			622.0	602	
	イ 利用件数	件	386	401	426	450	
	ウ 利用人数	人	6,473	6,079	6,026	6,100	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)		② コストの推移		単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
・建築確認申請手数料他	93千円	事業費内訳	国庫支出金	千円				
・建設監理業務委託	3,910千円		県支出金	千円				
・建築確認申請委託	270千円		地方債	千円		53,800	241,500	63,900
・外構工事設計業務委託	567千円		その他	千円			0	
・建築主体・機械・電気	224,748千円		一般財源	千円		727	7,276	94
・建築に伴う付帯工事	2,615千円	事業費計(A)		千円	54,527	248,776	63,994	
・公園撤去工事	4,547千円	正規職員従事人数	人		2	2		
・倉庫移設工事	4,973千円	延べ業務時間	時間		800	1,000		
・備品購入	7,053千円	人件費計(B)	千円		3,262	4,332		
計	248,776千円	トータルコスト(A)+(B)		千円	57,789	253,108		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
現春殖交流センターは、昭和48年建築で築後42年が経過し耐用年数も超えており、かつ旧耐震基準で建築された建物であり安全性が確保されているとは言い難い。また、大集会室が2階に設置されているため、多様化する地域自主組織の活動拠点として十分であると言えない。	平成29年度造成工事を行い、平成30年度に春殖交流センター建設工事を行った。	昭和48年に建築されており、老朽化が進んでいることや、大会議室が2階にあり利用しにくい施設となっていることから、平成27年12月に春殖地区振興協議会より建て替えの要望書が提出されている。

事務事業名	春殖交流センター整備事業	所属部	大東総合センター	所属課	自治振興課
-------	--------------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	既存、施設は解体後駐車場とし、公園跡地に春殖交流センターを新築するため、これ以上の向上の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	春殖交流センターとしての拠点施設であり施設整備は不可欠である。旧春殖交流センターは、集会室が2階にあるため平屋の建築を行う。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	理由		春殖交流センターとしての拠点施設であり施設整備は不可欠である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		既存施設の建て替えであり、これ以上の削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		必要最小限の人員で行っており、これ以上の削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		一般市民が利用する地域の拠点施設であるので受益者負担はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
D 公平性	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		地域の拠点施設であり、春殖交流センターとしての施設建築は、より良い地域づくりのため必要と考える。
E 評価 の 総 括	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
<p>平成30年度に春殖交流センター建設工事を行った。</p> <p>令和元年度旧春殖交流センターの解体及び外構工事を計画予定している。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。</p> <p>コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		